

4-1 重点プロジェクト

基本理念である「豊かな自然を育み、活力ある農林水産業づくり」の実現と基本目標を効果的に達成するため、2-4「農林業に係る施策の方針」、3-4「水産業に係る施策の方針」のうち、特に行政資源を重点的に配分して推進する施策として、本計画において2つの重点プロジェクトを設定します。

重点1 佐世保産農水産物の新ブランド製品の確立

(1) 目的

農水産物のブランド化は競合する品目に対し有利販売により高単価での取り引きが可能となり、結果として、生産者の所得と生産意欲の向上を図ることができます。

また、継続的な経営とともに次世代の担い手が育ち、さらには、地域の活性化に繋がるなど、本市の農水産業に幅広い効果をもたらすこととなるため、佐世保産農水産物の新ブランド製品の確立を目指します。

(2) 取り組みの方向性

本市農水産物のブランド化を図るためには、本市で生産される農水産物の中で、ブランド化の可能性がある農水産物を発掘し育成していくことが必要です。

このため、安全安心な農水産物の生産など消費者が求めるニーズを踏まえながら、農水産業者が主体的にその産地化に向けた取り組みができるよう、組織化の推進と生産体制の整備を図るとともに、品質を向上させるための本市独自の認証制度の検討を行います。

また、ブランド化された製品については、さらに付加価値を高めるため、国県の補助金等も活用しながら6次産業化や農商工等連携の取り組みを支援します。

【達成目標】

指標 ※指標設定の考え方	現況値	目標値
新ブランド農水産物及び加工品数 ※平成27年度までに確立する新ブランド農水産物及び加工品の数で計ります。	1 (平成21年度値)	11 (平成27年度値)

重点2 栽培漁業を中心とした沿岸漁業振興

(1) 目的

水産業を取り巻く環境は、従事者の高齢化による担い手不足、安価な輸入水産物等による価格の低迷、漁場環境の悪化に伴う資源の減少など、依然として厳しい状況が続いています。こうした中、漁獲量も減少傾向にあり本市水産業の基幹をなす沿岸漁業については、藻場の減少や漁場環境の悪化に伴う資源の減少などにより低調に推移しています。

多種多様な水産物の宝庫である沿岸域での漁業を持続可能なものとするには、沿岸漁業の基礎である水産資源の維持・増産と漁場環境の保全が重要であることを認識しておく必要があります。また生産者の高齢者対応を含め漁業生産の向上のために就業者確保、就労環境の改善、漁業活動の効率化に伴う漁港・漁場施設整備への対応などが必要となってきました。

(2) 取り組みの方向性

① 水産資源の維持・増産と適切な管理

・ 種苗生産施設の機能強化

有用種苗の安定的な生産を行うための技術改善および水産センター施設の老朽化に伴う機能低下の防止と改善

・ 魚種・海域に応じた栽培漁業の展開

漁業者ニーズおよび海域に適応した種苗の放流と放流効果の検証

・ 適切な資源管理の推進

漁業者の自主的な資源管理と資源回復計画による漁業規制を取り入れた資源管理の検討

② 水産基盤の総合的・計画的な推進

・ 沿岸域の漁場整備および藻場環境の保全

水産資源の生育・増殖のための計画的な漁場造成と水域環境維持に重要な藻場の維持および回復の推進

・ 漁港の整備および機能維持

高齢者対応を含め漁業生産の向上のために就労環境の改善、漁業活動の効率化を図るための漁港整備

・ 水産業を担う組織と人づくり

漁業経営基盤の安定化の促進および就業者確保のための施策の展開

【達成目標】

指標 ※指標設定の考え方	現況値	目標値
沿岸漁業の漁獲量【再掲】 ※市内の沿岸漁業の漁獲量で計ります	2,812t (平成21年度値)	2,800t (平成27年度値)